



# 紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校  
学校だより 第2号  
令和3年5月6日  
校長 荒井 友香

## 質問から行動に変える時

4月中旬、評価や評定についての動画を作成し、生徒たちに見てもらいました。「わかりやすかった」「勉強頑張ろうと思った」という声には、校長に対する多少の付度もあるかもしれないと思いつつも、ありがたく励まされています。

「評価される」ということは、何歳になっても緊張感を伴います。頑張った、予定通りの成果が上がったと思っても、存外に評価が低かったということがしばしば起きます。もちろん、その逆もあります。これは評価する人の視点が自分の想定している範囲の外にあったのが原因だったり、本人が十分にできたと思っていることが周りからすると不十分だったりすることで起きます。

私が高校生の時、体育で「96」だったことがありました。5段階評価ではなく、100点満点で評価する学校で、運動嫌いの私になぜ…?とビックリしました。原因はダンスの授業で振付をしたこと。周囲の評判も良く、運動会の学年ダンスの振付も行ったので、評価が上昇したのです。残念ながら、次の学期は水泳の授業が中心だったため、評価は急降下しました。担当の先生が、単元ごとに評価の視点を明確にもっていたから、上昇と急降下が起きたのだと理解しています。

できるだけ良い評価をもらいたいというのは、一般的な心情です。ところが、この心情が不安の呼び水になることもあるから、困りものです。

できるだけ良い評価が欲しいから、「評価の観点を教えてください」「テストはどのくらい大切

ですか」「授業態度はどのくらい影響しますか」と、質問だけが続けても、不安になるばかりで終わりがありません。考えているうちに、不安が増大する人も多いようです。

他人に相談すると、「考えすぎだよ」と言われたり、気分転換に趣味に熱中することを勧められたりします。これは、何かに集中することで、一時的に不安な気持ち以外の感情を引き出すためです。不安感は寂しがりやで、仲間を呼びたがりです。不安なことを考えていると、「あれも不安」「これも不安」と不安が増えていくから、一回、断ち切ってみると良いですよ、というわけです。タレントの所ジョージさんが、「曲を作っているときに、行き詰ったら止めてしまう。自分は趣味がたくさんあるから、他のことに熱中して、しばらく曲作りのことは本当に忘れちゃう。久しぶりに曲を作ろうと思うと、何に行き詰っていたかを忘れていたので、するっとうまく作れちゃう」と話していました。

評価を例にしましたが、質問してスッキリする人はよいとして、質問してますます不安になる人というのは、大人にも生徒にもいます。だとすれば、不安になりがちな人は、忘れる練習か、質問から行動に変化させる練習を中学生のうちにしておくというのも意味があることです。

忘れる練習を勧める時代が来るとは。学校も変化の時代ですね。

## 連絡方法の拡充について

欠席連絡にメールをご活用いただき、ありがとうございます。学校からの電話連絡について、さらに2台の携帯電話を使用することとなりました。下記の番号から発信することがありますので、ご了解ください。また、保護者の皆様から学校へのご相談・連絡は、引き続き学校代表 03-3920-1034 をご利用ください。

① 080-7278-2917

② 080-7249-4150

## 5月の生活目標

仲間と協力して、運動会を成功させよう  
～練習から全力で取り組み、当日を迎えよう～

昨年実施できなかった運動会に向けて、4月から練習が始まりました。個人競技はもちろん、ダンスやマスゲーム、リレーなどクラスや学年で協力することが運動会を成功させるには必要です。当日だけではなく、毎回の練習から全力で取り組むことで運動会を全員で成功させましょう。

### 【今月の主な生徒の活動・行事】

- ・セーフティ教室
- ・中央委員会・各種委員会
- ・英語検定
- ・全国学力・学習状況調査（3年）
- ・運動会

## お知らせ

緊急事態宣言の発令に伴い、1・2年生の保護者会を中止させていただきました。

1・2年生の保護者の皆様にお伝えする予定だった内容を動画にまとめ、Youtubeで公開しております。

動画の視聴については、本校の保護者・生徒に限るため、パスワードをかけております。

学校ホームページの該当学年のページにお入りいただきますと、「令和3年度 保護者会」という資料が貼付されています。本日送付します学校連絡メールにて、パスワードをご確認いただき、入力することで、資料を開くことが出来ます。

お手数ですが、ご確認の上、ご視聴をお願いします。

## 【SDG s 特集①】～SDG s って何?～

副校長 小林 寿典

学習指導要領の改訂に伴い、各教科において様々な箇所でも SDG s について触れられています。本校でも、各教科横断的な視点で「総合的な学習の時間」の目標に掲げ、学習に取り組むことになっています。

持続可能な開発目標（SDG s : Sustainable Development Goals）は2015年9月の国連サミット



にて採択された国際目標です。2030年までに持続可能な世界を実現するための「17の目標」と「169のターゲット」からなり、誰一人として取り残さないことを誓っています。SDG s と聞くと、途上国のための目標であり、自分たちの生活からは遠い概念であるように思ってしまうかもしれません。しかし、SDG s は、気候変動・エネルギー・経済・ジェンダー等、先進国が日々取り組まなければならない課題を含む、すべての国に適用される普遍的な目標であり、大人だけでなく子供たちの暮らしに深く関わるもの

です。特に目標4は、「すべての人々へ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という教育に特化したものになっています。持続可能な開発のための教育は、持続可能な社会の創り手を育てるため、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育です。持続可能な社会の担い手づくりを通して、17 全ての目標の実現の鍵となります。

テレビのコマーシャルや番組でも多く取り上げられている『SDG s』というものが、どのようなことであるかを知ることから始めてみてはいかがでしょうか。

## 【生徒の活躍】

**JRC委員会** 感謝状（HOYA株式会社アイケアカンパニーeco プロジェクト）

※JRC委員会では空のコンタクトケース回収リサイクル運動を行っています。リサイクルの対価は、全額、日本アイバンク協会に寄付されます。

